

センシング技術専門委員会 平成20年度事業成果報告会

- 主 催：センシング技術専門委員会
- 担当部署：知的基盤部（技術戦略G）
- 参加者数：約50名

概 要

当協会センシング技術専門委員会（委員長：安藤繁氏・東京大学）では電子工業の今後の発展のために、その基盤となる技術の進歩が不可欠であるセンシング技術について、昨年度から（1）要素技術、（2）システム・アプリケーション技術等の切り口から各調査テーマを選定し分科会を設けて利用促進に必要な市場調査や応用開発のための技術動向を調査し、実用化の展開および産業界への貢献について検討を行ってきました。また、その成果をJEITA関係企業中心に活用いただけ

るよう、毎年公開形式で広く報告しています。本年も、7/10（金）にJEITA会議室において各分科会における3件の調査報告と、小泉英明氏（日立製作所）による「脳のセンシングと感性について」と題した特別講演会を開催し、感性という言葉の意味するところを芸術や哲学、医学、神経科学など、異分野間にわたり広く考察いただきました。講演タイトルと講演者は以下のとおりです。

プログラム

○開催挨拶

安藤 繁 氏（東京大学）

○「次世代センシングシステム技術」

本多 敏 氏（慶応義塾大学）

○「MEMS/NEMSセンシングデバイス技術」

石田 誠 氏（豊橋技術科学大学）

○「センサ生産実績に関する動向と統計」

中本高道 氏（東京工業大学）

○特別講演

「脳のセンシングと感性について」

株式会社日立製作所 小泉英明 氏

○閉会あいさつ

